

## 競 技 注 意 事 項

1. 競技規則は、2025 年度日本陸上競技連盟規則に準じるが、児童である年齢を考慮した教育的配慮の元に競技を進行する。  
なお、「同じ競技者が 2 回不正スタートした場合は失格」のルールを適用して実施する。スタートの合図は、イングリッシュコマンド「On your marks : オン・ユア・マークス」（意味：位置について）「Set : セット」（意味：用意）を使う。
2. トラック競技の招集について
  - (1) 招集所は設けないので、参加児童 1 名と帯同者 1 名の 2 名で、指定した競技スタート場所付近に直接集合する。帯同者は、招集完了後速やかに芝生席へ移動すること。
  - (2) 招集開始は、競技開始の 20 分前に開始し、競技開始 10 分前に完了する。招集に遅れたものは、当該種目に出場できない。
  - (3) 招集時に腰ゼッケンを交付するので、右腰やや後方に着けること。（返却の必要はなし。）
3. 各種目決勝タイムレースで行い、上位 8 名による決勝は行わない。
4. 全天候舗装走路では火傷の危険があるので、素足での競技は禁止する。
5. オールウェザー用のスパイクシューズ（ピンの長さ 9mm 以内）を使用してもよい。
6. スタートは、クラウチングスタートとする。その際、スターティングブロックを使用してもよい。なお、4 年生の競技においては、スタンディングスタートでも構わない。
7. 80mH は、下記規格にて行う。  
\*ハードルの高さ 70cm    \*ハードル間 7m    \*ハードル基数 9 基  
\*スタートから第 1 ハードルまで 13m    \*最終ハードルからゴールまで 11m
8. 走幅跳は本部前ピットで男女同時（コンバインド含む）に実施する。一人 3 回の試技（コンバインドは 2 回）とし、ベスト 8 は行なわない。  
招集は、競技開始 30 分前～20 分前の間、競技場所にて行う。
9. 走高跳の跳躍方法は「はさみ跳び」とし、マットへは足裏からの着地を原則とする。背・腰から落下した場合は無効試技とする。同一の高さに挑戦できるのは 3 回ずつとするが、同一の高さでなくとも 3 回（コンバインドは 2 回）続けて失敗した場合は失格とする。  
最初の試技は、競技開始時に決定し、5cm ずつバーを上げていく。  
招集は、競技開始 30 分前～20 分前の間、競技場所にて行う。
10. ジャベリックボール投は、大会事務局が準備したものを使用する。助走距離は 15m 以内とし、一人 3 回（コンバインドは 2 回）の試技とする。試技の際には、ボール本体を持ち、オーバーハンドで投げることにする。羽根だけを持って試技することは禁止する。  
招集は、競技開始 30 分前～20 分前の間、競技場所にて行う。
11. アスリートビブス（ナンバーカード）は主催者側で準備し、当日受付で手交する。  
なお、帰られる時には返却用 BOX に返却する。
12. 記録証について  
当日の混雑等を避けるため、HP に記録賞をアップするので、そこからダウンロードしてください。【本大会記録証アップ予定日 6 月 18 日（水）】